

高速自動車道路事故夜間対応訓練概要

- (1) 事故車両から携帯電話による119番通報を、松山市消防局通信指令課にて受信する。
- (2) 松山消防（通信指令課）から、道路管制センター（高松市）を経て連絡を受けたNEXCO西日本及び高速道路交通警察隊は、事故発生場所の検索活動を開始する。
- (3) NEXCO西日本及び高速道路交通警察隊の検索活動により、事故発生場所を確認したところ、松山インターチェンジ（ランプウェイ）の本線合流地点の二車線区間で事故車両を確認、二次災害の防止のため交通規制等を実施、また事故状況を報告する。
- (4) 南消防署は、上り車線（本線合流の二車線内）に停車している軽自動車及び普通自動車の計2台に対応する。
- (5) 軽自動車に要救助者（1名）閉じ込めにより救助隊が救出活動を実施する。
- (6) 救出活動終了後、車両火災が発生し、南消防署が消火活動を実施する。
- (7) 中川自動車の事故車両搬送後に交通規制を解除し訓練終了とする。
- (8) 松山市南消防署長訓練講評・西日本高速道路株式会社四国支社愛媛高速道路事務所所長挨拶
- (9) 解散



消しましょう その火その時 その場所で

